

乙 245

172
5
283

二〇六

歐米德式圖解

不圖ハットン氏著
北村金太郎譯

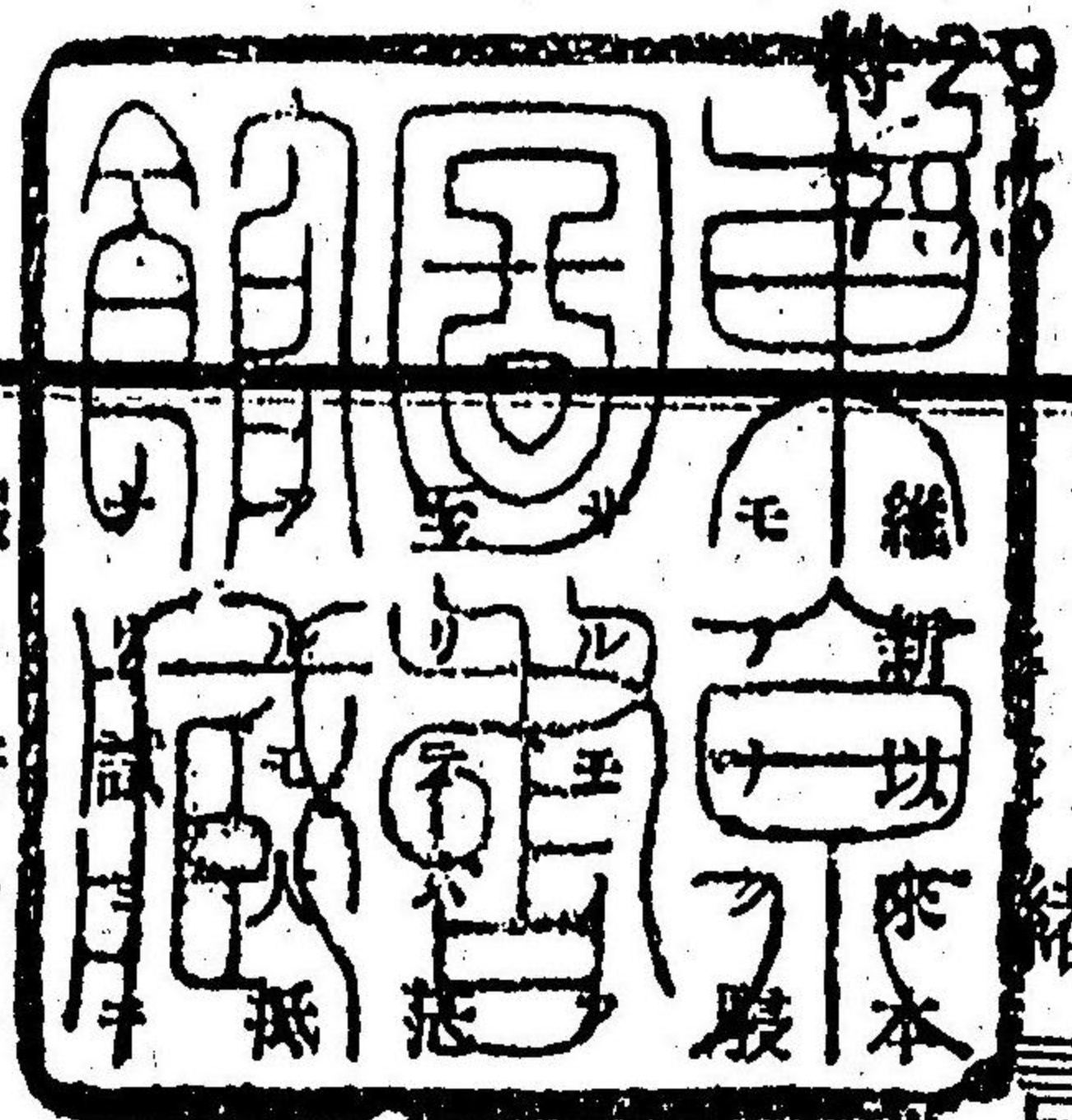
明治十九年九月出版



明治十九年九月二十一日内務省 付 882 号

歐米禮式圖解

緒言



維新以來本邦ノ制度文物一トシテ歐米各國ニ摸倣セラル
 平トシテ月ニ進ミ年ニ化レ文明各國ニ愧ナ
 ルニ至ル然レモ日常行事内外交際ノ儀節等ニ
 手トノ之ヲ知ルモノナシ或ハ其一ニチ言フ者
 其門墻ヲ窺フノミ未タ其堂ニ升ラサルモノ
 有ヨ洋風ノ家屋ハ儘ニ官衙ノ一部ニ止マリ洋
 服ヲ着ルモノハ軍人及外交官ノ外ハ甚稀レナリ是即チ三
 四年前ノ實況ナリ
 爾後漸次ニ上等社會ノ家屋ハ概チ洋風ニ建築シ商家モ亦
 之ヲ改造スルモノアリテ既往ノ面目チ一變セリ而シテ洋

服ハ頓ニ其進歩ヲ現ハシ其及フ所甚廣ク遂ニ小學生徒ヲ
シテ之ヲ服セシメントシ殊ニ婦女子中洋服ヲ着用スルモ
ノアルニ至レリ家屋及衣服己ニ如斯ナレハ座禮ヲ改メテ
立禮ト爲サハルヘカラス側カニ聞ク某公嘗テ人ニ謂テ曰
我邦ノ座禮ヲ改メテ立禮ト爲スヘシ或曰人智開發スレハ
外形自ラ改良スヘシ述ニ外形ノ改良ヲ企圖スルモ益ナシ
ト此言ヤ現今ノ時勢ヲ察セサルモノナリ夫レ歐米各國ト
交際繁多ナル今日ニ當リ彼ノ普通ノ禮ヲ知ラスンハ何ヲ
以テカ彼ニ對セン是レ儀節ノ講セサルヘカラサル所以ナ
リ
近年都邑ニ於テ親睦會ヲ開クモノ甚メ多シ就中東京府ノ
宴會ヲ以テ盛大無比ト爲ス抑府ノ宴會ハ鹿鳴館或ハ他館

ニ設ク實ニ洋風ノ構造ナリ而シテ其賓客タル者内ハ内閣
諸公ヨリ在野ノ紳士外ハ各國公使及領事等ニシテ無慮五
六百人咸ニ洋服ヲ着ケ酒饌ハ洋品ヲ供シ禮ハ固ヨリ立禮
トス蓋内外ノ紳士ヲ會シ待遇ヲ鄭重ニセシニハ各國一般
普通ノ禮式ヲ用ヒサルヘカラス頃者友人予ニ謂テ曰僕ヤ
數々宴會ノ席ニ列スト雖モ其服飾飲食應對ノ儀節順序等
如何ヲ知ラス故ニ忸怩タルヲ多シ請フ君僕カ爲メニ之ニ
關スルモノヲ翻譯シテ之ヲ教ヘヨト其言甚切ナリ於是英
佛米各國普通一般ニ行フ所ト予ノ親シク見聞スル所ノモ
ノ數項ヲ纂譯シテ之ヲ與フ友人大ニ喜ヒ且曰刻シテ以テ
世ニ公ニシ僕ト同感者ノ儀則ト爲ント予之ヲ許ス然レモ
此書タル僅々一小冊子特ニ其一斑ヲ舉クルノニ將ニ繼テ

其完備セルモノヲ成サントス看者其レ之ヲ諒セヨ

明治十九年六月

譯者 識

歐米禮式圖解目錄

衣服ノ部

製服ノ要義

縉紳ノ衣服

貴婦人ノ衣服

宴會ノ部

宴會ノ要義

賓客ヲ招待シ及ヒ客タルモノ、心得

食堂ノ準備

賓客ヲ食堂ニ導ク順序

食案ニ對スル賓主ノ心得

應接ノ部

應接ノ要義

紹介ノ通式

握手

訪問ノ通式

途上應接ノ通式

婚禮ノ部

婚禮ノ要義

議婚

納幣

結婚ノ儀式

婚儀ノ衣服

葬儀ノ部

喪葬ノ要義

喪服

附錄

粧飾ノ部

梳髮

齒牙

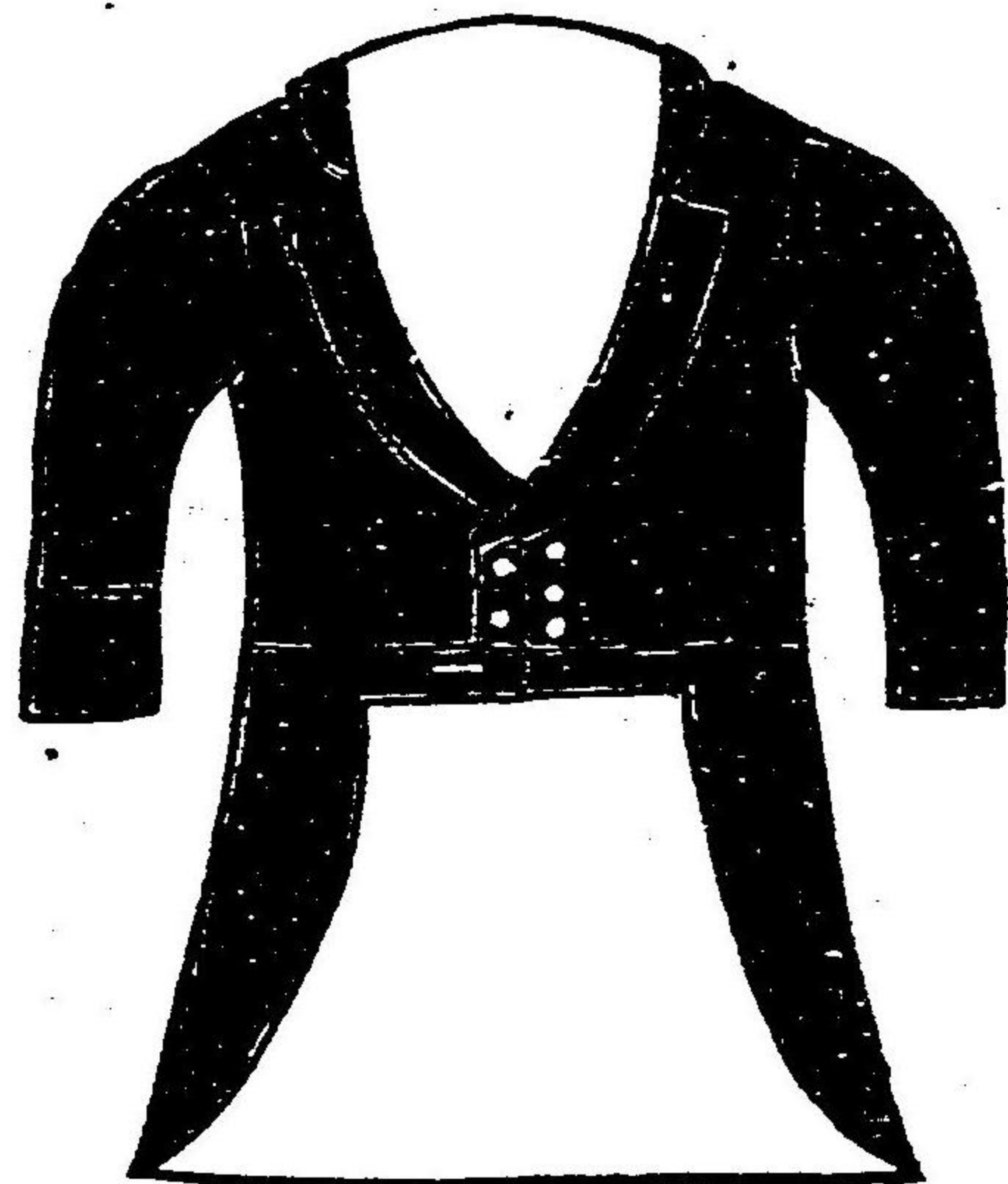
治粧

目錄終

トコロチスレグニモ
クフ即ッドン



イスド即イスレグニエ
トコレッチトコッドンヒ



食卓排列之圖



奧食之圖

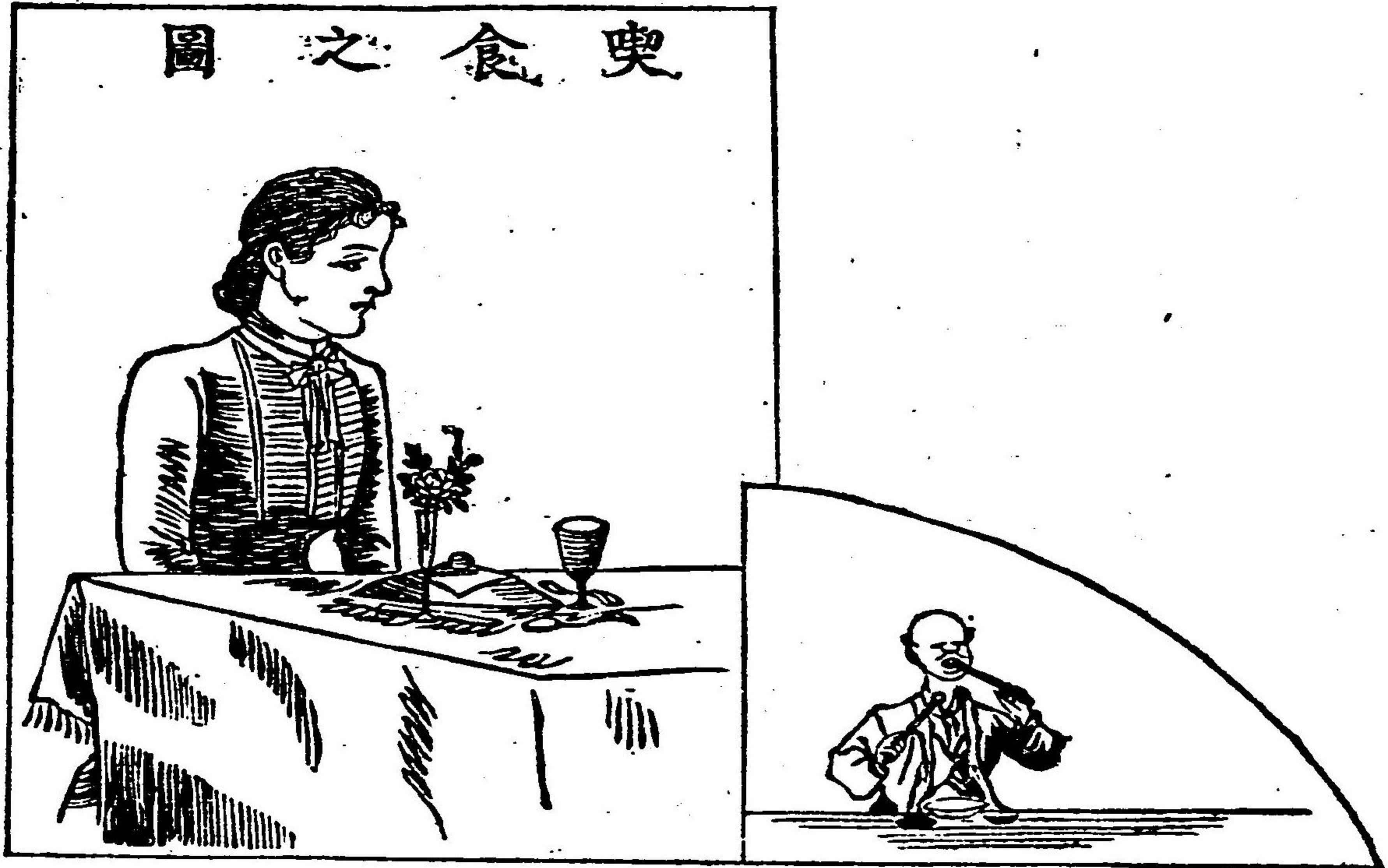
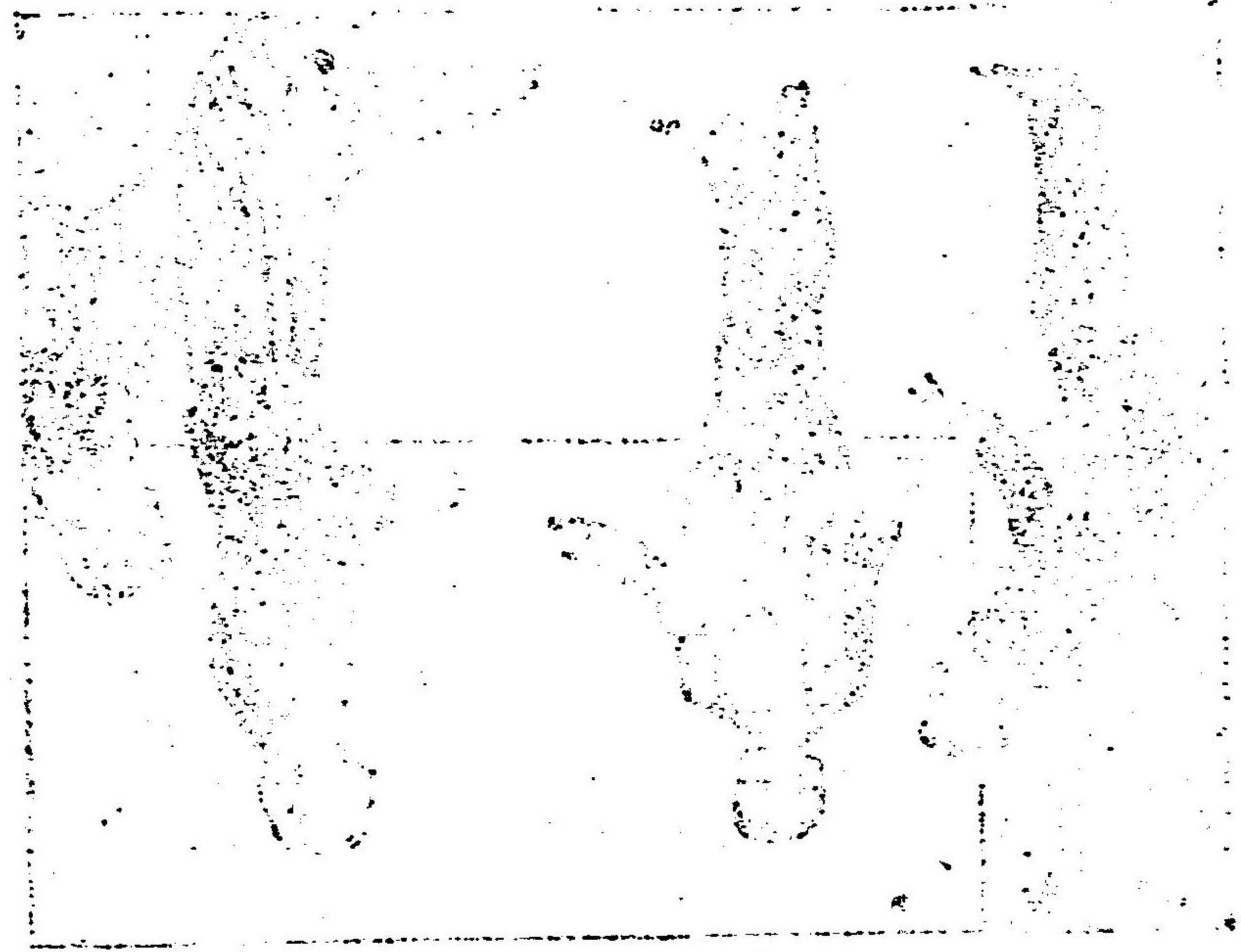


圖 介 紹





舞踏準備之圖



師教宗テ於ニ式誓結
圖ノルヲ授ニ婦夫新ヲ戒



歐米禮式圖解

北村金太郎譯述

衣服ノ部

○製服ノ要義

○凡ソ人ノ威儀容止ハ其美ナルモノ能ク人ヲシテ威
 發景慕止ムヲ能ハサシムルモノナリ然レモ服飾
 其節ニ適セサルトハ安ソノ能ク人ヲシテ景慕セシ
 ムルヲ得ンヤ服飾ノ適不適ハ其關スル所大ナリ
 ト謂フヘシ且夫レ人ハ生得容姿ノ美ナルモノアリ
 美ナラサルモノアリ其美ナルモノニシテ服飾其節
 ニ適スルトキハ愈々美ナリ若シ其節ニ適セサルト
 ハ其美ヲ喪フ其美ナラサルモノト雖モ服飾其節ニ

適スルキハ變シテ美ナラシムルモノナリ服飾ノ關
スル所其レ此ノ如シ豈慎マサルハケン乎

○衣服ノ適不適ハ金ヲ費スノ多少ニ在ラスシテ構思
ノ巧拙ニ由ルモノナリ即チ貴女ノ如キ寶玉ヲ以テ
全身ヲ纏フモ其衣服適合セバ風姿整美ナラサルハ
觀ルニ足ラス是レ飾多ノ金ヲ費ヤシテ其益ナキモ
ノナリ

○衣服ヲ調製スルハ專ラ人々ノ地位、體格、場所ニ適當
スルヲ要ス必ズ先ツ地位ト貧富トニ依リテ其適不
適ヲ思考セサルヘカラス今婦女ニ就テ之ヲ言ハシ
ニ善良ノ婦女ハ父兄及び良人ノ勞働ヨリ生出スル
有限ノ金ヲ以テ欲望無限ノ衣服ニ消費スルヲ爲

サズ又婚嫁シテ其良人富有ナリト雖モ過多ノ金ヲ
消費セサルヲ以テ稱揚シテ美事トナス是故ニ衣服
ハ華美ナランヨリハ其地位、場所ニ適當スルモノヲ
取リ巧ミニ之ヲ着用スルノ美ナルニ若カス且其着
衣服等ニ注意ノ密ナランニ洵ニ切要ナリ

○衣服ハ身分ニ相應シ身體ニ適合スルモノヲ製スヘ
シ許多ノ金ヲ費シ身分不相應ノ譏リヲ取ルヘカラ
ス蓋シ新タニ一家ヲ成シ又ハ僅少ノ給料ヲ得ル商
家ノ管店ノ妻女等ニシテ縉紳及富家ノ阿正阿嬢ノ
如キ美裝ヲ爲シ或ハ機女、下婢等ニシテ身分外ノ美
服ヲ着用スルハ過分ノ奢侈ト謂フヘシ
○弊衣垢服ヲ耻ルハ人ノ常情ナリ然ニ衣服ノ美惡ヲ

意ニ分セサルハ畢竟疎懶怠惰ニメ不潔ヲ厭ハサル
 モトト謂フヘシ怠惰不潔人情ニ悖反スルハ交際上
 ニ妨害アル勿論ナリ故ニ其身分相當ノモノヲ着用
 セサルヘカラス且普通ノ人ハ衣服ノ良質裁縫ノ良好ナ
 ルヲ要セス唯清潔ニ注意スヘキナリ然レモ貧賤ニ
 シテ世人ニ倣フ能ハサルモノハ固ヨリ此例外トス
 ○衣服ノ色模様ハ人々ノ肥瘠年齢ニ適應センヲ要
 ス例ニハ肥大ノモノハ黒色又ハ其類似ノ色ヲ用ヒ
 顔面及頭髮ノ淡黒ナル婦人ハ黒色ノ類ヲ用ヒ又櫻
 色ノ艶質アル女子ハ淡色ノ衣服ヲ着用スルカ如キ
 是レナリ

○妙齡ノ男女ハ衣服ノ美ニシテ好ク適應スルヲ宜シ

トス然レモ男子ハ女子ノ如ク心ヲ衣服ニ勞スヘカ
 ラス

○老人ノ衣服ハ成ルヘシ寛濶ナルヲ要ス流行及華美
 ナルハ宜シカラス博士、文學士、及學生等モ亦流行物
 ナ避ケサルヘカラス唯壯年ノモノハ時々ノ流行物
 ナ用フルモ可ナリ凡テ何人ヲ問ハス衣服ノ善ク適
 應シテ清潔ナルハ縉紳ノ風采アリ敬愛スヘキモノ
 ナリ然レモ縉紳者ニ衣服ノ身體ニ酷ク好ク適合
 スルハ修飾ニ涉リ却テ其品位風采ヲ損スルモノナ
 リ且ツ富有者ト雖モ衣服一襲ヲ調製スル費用ハ其
 收入ノ十分一ヲ超過スヘカラス富有ナラサルモノ
 ニ於テハ勿論ナリトス

○衣服ハ一般ニ通スルモノヲ調製シ異様ノモノヲ着用スヘカラス殊ニ宗教者ニアラスシテ之ニ類スル衣服ヲ纏フテ神聖ニ擬スルハ甚ク不可ナリトス

○縉紳ノ衣服

○朝タニ着用スヘキ衣服ハ「モト」ニング、ドレツス（黒色）「ロツコ」及白色或ハ黒色ノ半臂衣、鼠色或ハ淡黒色（田舎）及海邊ニ於テハ鼠色又ハ淡青色ヲ用フルヲ長シ（ト）又何地ニ於テモ時季ニ依リテ其色ヲ撰フヘシ（ト）ノ窄袴、絹ノ高帽子、黒色ノ襟飾ヲ用フヘシ但上下共ニ黒色ナルハ不相應トス凡テ縉紳ハ白日ニ「ドレツス」コート及白色ノ襟飾リヲ着用スヘカラス
○夜中ニ着用スヘキモノハ凡テ黒色ノ衣服（即チ「エビ」「レ」ス」ト稱スル上下）ニシテ白色ノ襟飾リ白或ハ青白共黒色ノ衣服ナリ）

色ノ野羊皮ノ手套（テ）及「シヤツ」ノ釦鈕ハ飾リナキモノヲ用フヘシ

○我カ家室内ニ在ル時ニモ黒色ノ衣服ヲ着用スヘシ其兒子モ亦同シ然ルキハ自ラ縉紳ノ風采アリ

○「モト」ニング、ドレツス」ハ寺院ニ參拜シ盛大ノ宴會及音樂會ニ列スル時ニ着用ス而シテ日曜日ニハ寺院及家屋ノ内外ニ於テモ「エビ」ニング、ドレツス「コート」ヲ着用スヘカラス

○園庭ノ會ニ於テハ黒色或ハ黒青色ノ「フロク」コート白色ノ半臂衣、鼠色ノ窄袴、鼠色或ハ其類似ノ色ノ帽子ヲ戴クヘシ近年英國皇族ノ園庭會合ニハ左ノ服飾ヲ用ヒラレタリ即チ青色ノ「エビ」ニング、ドレツス

コート鼠色ノ窄袴、白色ノ半臂衣、黒色ノ裝飾或ハ淡色ノ半臂衣、黒色ノ「ドレツスコート」ヲ着用セリ是レ皇室ノ命スル所ナリ

○夜會及舞踏會ニ於テハ黒色ノ「ドレツスコート」同色ノ窄袴、同色ノ絹或ハ黒羅紗ノ半臂衣、薄革ノ「ゴム靴」、白色ノ襟飾リ、白色野羊皮ノ手套ヲ着用スルヲ常例トス又舞踏會ニハ第二項ニ登錄セシ裝飾ヲ爲スモ亦可ナリ

○近年夜會ニ一ノ弊風アリ即チ給仕ヨシテ黒色ノ「エビニンゴ、ドレツスコート」半臂衣、窄袴、白色ノ襟飾ヲ用フル等是レ最モ適當セサルモノナリ

○頭髮ハ能ク梳刷^{かきもて}シテ長短不齊ナキヲ要ス且務メテ

豎毛ナカラソコヲ注意スヘシ

○善良ノ教育アル縉紳家ハ渾テ盛飾ヲ爲スコトナシ殊ニ裝飾ノ衣服及絹襟ハ用ヒサルヲ良シトス然レモ唯一個ノ指環、時計ノ鎖及「イヤツ」ノ釦鈕ノ彫刻シタル紋形ナキモノ等ヲ用フルハ不可ナルコトナシ

○貴婦人ノ衣服

○婦女ノ舞踏ニ着用スル衣服ハ襟袖トモニ長キヲ要ス其品質、色、模様ハ宜ク四季ニ依リテ撰定スヘシ

○婦女ノ「エビニンゴ、ドレツスコート」ハ夜會、舞踏會、會食等ニ着用スヘキ衣服トス故ニ盛裝華美ナルヲ要ス然レモ婦女ノ衣服ハ時々ノ流行ニ從ヒ變更スルヲ通例トス一定ノ制アルコトナシ

○ 舞踏者ノ衣服ハ光彩アル絹或ハ金剛石ヲ以テ盛飾
 シタルモノヲ着用シ、頭髮ニハ花卉ヲ挿ムヘシ且金
 剛石ハ其數多キヲ最モ善シトス花卉ハ二三種ヲ撰
 用スヘシ又舞踏ヲ爲サ、ルモノモ亦宜ク裝飾多キ
 衣服ヲ着クヘシ

○ 會食ノ衣服ハ黒色又ハ樺色、紫色、黒萌黄色、深赤色其
 他凡テ淡色ノモノヲ撰ミ且華美ナルヲ要ス但主婦
 人クル者ハ賓客ヨリ美ナラサルヲ以テ通例トス

○ 會食ノ衣服ハ其品質厚キ絹布或ハ天鵝絨ヲ以テ冬
 服トス夏ハ輕クシテ佳美ナルモノヲ撰ミ製スヘシ
 且扇子手套ハ宜ク新調ススヘシ

○ 玆ニ附記セサルヘカラサルモノアリ舞踏ノ準備是

ナリ乃チ舞踏ヲ催スニハ貴婦人ヨリ從者ニ至ルマ
 テノ更衣室ヲ設ケ一應ノ粧飾具ヲ備ヘサルヘカラ
 ス

○ 婦人舞踏ノ衣服ハ甚ク長キモノナリ故ニ注意シテ
 之ヲ踏ムヘカラス若シ過チテ踏ミタルトハ丁寧ニ
 之ヲ謝シ且綻裂等アラハ扶ケテ更衣室ニ至ルヘシ

○ 夫妻相携ヘテ舞踏スヘカラス姉妹モ亦然リ

○ 手套ハ男女ノ別ナク宴會、舞踏會、音樂會、夜會、會合、防
 問、劇場、乘馬、乘車、市街、寺院等ニハ必ス之ヲ用フ且新
 調若クハ一点ノ垢汚よごれナク好ク適合スルモノヲ用フ
 ヘシ但喫食ノ時ハ之ヲ脱シ又禮節ヲ正サ、ル會合
 ニ於テハ之ヲ用ヒサルモ敢テ不可ナルコトナシト雖

モ手套ノ節儉ハ交際上ニ妨害ヲ與フル少小コアラ
ス而シテ舞踏ニハ白色ヲ用ヒ夜會ニハ白色等ノ見
易キ色ヲ用フヘシ寺院其他ニ於テ川フルモノハ定
色ナシ

宴會ノ部

○宴會ノ要義

○凡ソ宴會ヲ設ケ賓客ヲ招待スルハ固ト相互ニ親和
セシムルヲ欲スルナリ是故ニ賓客中平生交リ惡シキ
者ヲ同時ニ招クヘカラス而シテ客中ニ談話ヲ善ク
スルモノト善ク之ヲ聽クモノアルハ最モ宴會ノ好
都合トス又一人或ハ數人音曲ヲ奏スルモノアルハ
食事ノ前後ニ於テ殊ニ賓客ヲシテ和樂快暢ナラシ

ムルモノナリ

○賓客ニ快樂ヲ取ラシムルニハ會同ノ衆客交互ニ談
笑快語シ始終連續セシムルヲ要ス若シ其談話一人或
ハ數人ニ止リ或ハ斷續不定ナルハ快樂充分ナル
コトヲ得サルモノナリ衆客愈々相談話シ且其快語ヲ
連續セシムルハ主婦人ノ務メトス

○賓客ヲ招待シ及客タルモノノ心得

○賓客ヲ招待スルニハ會日ヨリ十日前八日以内ニ於
テ主人自ラ各家ニ就キテ之ヲ請フヲ以テ鄭重ノ禮
ト爲ス又夫妻ノ名ヲ以テ招狀ヲ贈ルヲ通常ノ式例
トス(招待狀ハ狭小ニ裁シテ封筒ニ入レ專使ヲ發ス
トス)隔地ノ人ヲ招クニハ郵便ヲ以テスルヲ例

○每家ニ男一人又ハ女一人ヲ限ルニアラサルヨリハ
 必ス夫妻ヲ招待セサルヘカラス又甲ノ一家ニ夫妻
 ナ招キ乙ノ一家ニ男一人或ハ女一人ヲ招クハ最モ
 宜シカラス且大會ニアラサレハ一家ニ三人ヲ招ク
 可シ

○宴會ニ音樂ヲ奏シ或ハ舞踏ノ催シアルトハ宜シク
 招狀中ニ之ヲ附記スヘシ

○招狀ヲ受タル者ハ即時ニ其應否ヲ報答セサルヘカ
 ラス己ニ參會ヲ報シタルニ故ナクシテ其約ヲ履行
 セサルトハ唯會主ヲシテ準備ニ徒勞セシムルノミ
 ナラス反テ己レノ不信ヲ示スナリ又參會ヲ報シタ
 ルモ萬己ムヘカラサル事故ノ爲メニ前約ヲ履行シ

能ハサレハ宜シク其事實ヲ通報スヘシ若シ其招ヲ
 受ケテ其應否ヲ報セサレハ會主ハ來客ノ幾人タル
 ナ知ルヲ得サルノ不都合アリ而シテ約ヲ履ミ參會
 スルハ定刻ヨリ早キニ過クレハ會主ノ妨障ト爲リ
 遅キニ失スレハ既至ノ客ヲ厭倦セシム客タル者心
 ナ用ヒサル可ケンヤ

○定刻ニ至リ未タ來會セサル者アレハ爲メニ十五分
 時間ヲ猶豫スヘシ而シテ其時刻ニ至レハ主婦人ハ
 賓客ニ對シ徒ラニ時刻ノ經過セシヲ謝スヘシ

○客タル者招待セラレタル家ニ至レハ外套ヲ脱シ帽
 子ノミヲ携ヘ氏名ヲ通シ直チニ客室ニ入り進ンテ
 先ツ主婦人ニ接ス止ク二三語ヲ交ユヘシ其來賓婦

人ナレハ主婦人ハ之ニ椅子ヲ與ツ男子ナレハ之ヲ延ヒテ客中ニ入ラシム

○右ノ外尙ホ一例アリ乃チ主人夫妻ハ堂室ノ入口ニ出テ客ヲ迎ヘ丁寧ニ接シ敬親ノ意ヲ表ス是レ最モ其儀ノ鄭重ナルモノナリ

○又賓客ノ來リ臨ムヤ未ダ相識ラサル者アラハ主人ハ懇ロニ之ヲ紹介シテ歡語セシムヘン

○食堂ノ準備

○食案ノ覆布及食布ハ務メテ黠汚ナキヲ要ス且其食巾ハ宜シク濃糊ナキモノヲ用フヘシ

○食案ノ中央ニ佳美ノ陶器及玲瓏ニシテ紋形アル硝子器ニ辛辣、鹹、酸等ヲ盛りテ備ヘ置ヘシ鹽、バター、ナ

盛りタルモノハ賓客ニ供スル器皿ノ側ニ配置シ且馥郁タル花卉ヲ美麗ナル瓶子ニ挿置クハ一層ノ佳趣ナリト

○果物ニ數種ノ乾菓子ヲ添ヘ綠色ノ葉ヲ敷キ之ヲ器皿ニ盛り置クヘシ

○各婦人ノ側ニ小ク束ヲタル芳花ヲ置クヘシ

○食巾ヲ疊ミテ花卉ヲ挾ミ麵包ヲ其巾上ニ載セ之ヲ器皿ニ置クヘシ此備ヘアルトハ賓客ハ之ヲ採リテ鈕邊ニ掛クヘシ

○賓客ニ其席次ヲ知ラシメンカ爲メニ豫メ名刺ヲ器皿ニ入レテ每席ニ配置スヘシ又名刺ヲ食巾上ニ配置スルモ可ナリ

○每客ニ盃子四個ヲ準備シ其中最大ノ盃ヲ以テ葡萄酒
 酒ヲ供シ一盃ヲ以テ古葡萄酒ニ又一盃ヲ以テ「シヤ
 ノパン」ニ餘ノ一盃ヲ以テ他酒ニ供スルモノトス
 ○園庭ノ會ニハ酒茶菓ヲ供シ來賓ヲシテ各其嗜好ニ
 隨フテ飲食シ或ハ奏樂ヲ聞キ或ハ徜徉スル等隨意
 ニ任スルヲ宜シトス如此ナルハ賓主ノ快樂中自
 ラ餘味アルヘシ

○賓ヲ食堂ニ導ク順序

○饗饌全ク整備シタルヲ報セハ男主人ハ先ツ自ヲ進
 ノテ老貴女ノ手ヲ携ヘテ之ヲ食堂ニ導キ其席ニ就
 カシム是ニ於テ衆客皆貴賤長幼ノ序ヲ以テ各婦人
 ノ手ヲ携ヘテ其席ニ就ク一ニ主人ノ如クスヘシ

但男子ハ己レノ妻女姉妹ヲ導クヘカラス主人ハ宜
 シク豫メ婦人ト席次トヲ其手ヲ携フル各男子ニ報
 シ置クヘシ最後ニ主婦人ハ己レノ良人ノ導キタル
 老貴女ノ良人ニ誘ハレ而シテ老貴女ハ男主人ノ右
 第一席ヲ占メ其良人ハ主婦人ノ右ノ席ニ就ク衆客
 ハ最後ニ主婦人ノ席ニ就クマテハ起立スヘシ己ニ
 就席ノ後ハ自由ニ起坐スルモ可ナリ抑宴會ハ其爲
 メニ設クル所ノ人ノ婦人ヲ必ス先ツ食堂ニ導クハ
 勿論トス然ラサルハ新婦ヲ先キニスヘシ又未ダ
 一面識ナキモノアラハ之ヲ先キニスルハ常例ナリ
 而シテ主人ノ席ハ食案ノ中央(主人夫妻ハ食案ノ中
 央トハ例ヘハ長キ方形ノ食案ナリ)ニシテ其右ヲ貴
 ハ其短キ一邊ノ中央即チ是レナリ)ニシテ其右ヲ貴

人ノ席トナス故ニ給仕ノ器皿ヲ配置スルハ右ヲ先
キニシ順次左ニ及ホスヲ以テ常式トス

○食案ニ對スル賓主ノ心得

○食案ニ對シテハ身體及手足ヲ妄リニ搖動スヘカラ
ス

○辛辣、鹹、酸物等ヲ盛りタル器皿及麵包ヲ弄スヘカラ
ス此禮法ニ習熟シタル人ヲシテ握盛ニ堪ヘサラシ
ム

○肱ヲ食案上ニ横クヘ或ハ案ヲ距ル遠キニ過クル等
ノ惰容アルヘカラス

○隣席ノ者ト談話セハ低聲ニスヘシ高聲ヲ發シテ他
ノ妨ヲ爲スヘカラス

○隣席外ノ人ニ對スルモ亦高聲噪急ニ語ルヘカラス

○談話及動作ハ愉悅寛優ノ容色ヲ要ス毫モ愁苦不快
ノ體ヲ爲スヘカラス

○鼻息ヲ高クシ胸部ヲ張り及ヒ手ヲ肩上ニ伸スヘカ
ラス

○椅子ニ凭リ身體ヲ欹ノ惰容アルヘカラス

○己レノ衣服ヲ注視スヘカラス又衣服ヲ点汚スルコ
アルモ意ニ介スヘカラス

○紳士ハ己レノ導キタル婦人ヲ扶助シ老婦人ナレハ
尤モ注意スヘシ

○酒ハ其品性寛ヨリ猛ニ移リ食ハ淡ヨリ濃ニ進ム是
飲食ヲ侑ムル順序ナリ

- 酒ヲ飲ムヲ能ハサレハ給仕ヲシテ満酌セシムヘカ
ラズ又己ニ満酌シテ飲了スル能ハサレハ敢テ之ヲ
嘗メスシテ其由ヲ給仕ニ告知スヘシ
- 飲酒ハ必ス盃リアリ盃ヲ把ルニ間斷アルヲ要ス且
盃ヲ傾クル毎ニ食巾ヲ以テ唇邊ヲ拭フヘシ
- 食物ニ已レノ厭惡スルモノアルモ之ヲ容色ニ見ハ
スヘカラス又嗜好セサルモノアレハ之ニ手ヲ下ス
ヘカラス辛辣、鹹、酸物等モ亦然リ
- 盛宴ニ於テハ器皿ヲ換ユル毎ニ肉刀肉叉ヲ易フ其
肉叉ヲ置クハ仰カシムヘカラス
- 肉刀肉叉ヲ人ニ投クルニハ必ス其中央ヲ操ルヘシ
- 肉叉ヲ以テ分チ難キモノハ肉刀ヲ用フヘシ肉刀ヲ

- 以テ食物ヲ口ニスヘカラス
- 羹汁モツハ匙ヲ用フ啜音ヲ發スヘカラス
- 羹汁ノ如キ匙ヲ要スルモノ、外ハ肉叉ヲ用フヘ
シ
- 魚肉ハ肉叉ヲ以テ之ヲ喫スヘシ右手ヲ用フ魚肉ハ
羹汁ノ次ニ供スルヲ以テ順次トス
- 魚肉ノ骨アルモノハ先ツ之ヲ取り去ルヘシ若シ己
ニ之ヲ口ニシテ骨片アルヲ知レハ食巾ヲ以テ口ヲ
掩ヒ而シテ之ヲ取り去ルヘシ
- 麵包ハ必ス指ヲ以テ之ヲ分割シテ喫スヘシ左手ヲ
用フ肉刀肉叉ヲ用フヘカラス
- 麵包ハ「バター」ヲ付ケサル前ニ裂クヘシ裂カスシテ

喫スヘカラス

○麵包ヲ浸汁及食物ノ殘瀝のこりしニ浸スヘカラス

○乾酪ヲ喫スルコハ肉又ヲ以テシ肉刀ヲ用フヘカラ

ス

○己レノ欲スルモノアラハ低聲ニ之ヲ給仕ニ命スヘシ

○凡ソ食物ヲ口ニシテハ喫音ヲ爲スヘカラス又口中

ヲモノヲ見ハサ、ルカ爲メニ口ヲ閉テ食スヘシ

○果物ヲ剖切スルニハ金又ハ銀ノ小刀ヲ用フヘシ常通

ノ宴會ニ於テハ肉刀ヲ兼用スル勿論ナリ

○無花果、アスパラグス、アヤコップ等ノ果物ハ指ヲ以テ

之ヲ喫スヘシ

○蜜柑、櫻實等ヲ食シ其核ヲ嚙下スルヲ欲セサレハ密

カニ取リテ器皿ノ一隅ニ措クヘシ

○果物ハ小刀ヲ以テ其皮ヲ去リ或ハ切截シ或ハ剖キ

テ之ヲ喫スヘシ

○プッシング子葉ハ肉又及ヒ匙ヲ用フヘシ

○凡テ菓子ノ屑片ヲ器皿ニ留ムヘカラス

○食巾ハ専ラ口ニ用フルモノトス之ヲ以テ額鼻等ヲ

拭フヘカラス

○食案ニ對シテハ指ヲ唇齒ニ觸レシムヘカラス若シ

食物ノ齒牙ニ滯介まぎスルモノアラハ食巾ヲ以テ口ヲ

掩フテ之ヲ去リ或ハ人ナキ所ニ於テ取り去ルヘシ

○頭ヲ器皿ニ觸レシムヘカラス又直チニ口ヲ器皿ニ

接スヘカラス

- 食物ヲ口ニシタルハ人ト語ルヘカラス
- 水ヲ飲ムニハ右手ヲ用フ之ヲ授受スルモ亦此ノ如シ其他ハ都テ左手ヲ以テスヘシ
- 生牡蠣ハ肉又ヲ以テ食スヘシ
- 主人及乗客愈々其席ニ在ルハ妄リニ席ヲ離ルヘカラス若シ己ムヘカナラルコトアラハ之ヲ主人ニ告ゲ而ル後ヲニ其席ヲ離ルヘシ
- 宴席ニ於テ盃ヲ舉ケテ健康ヲ祝セント欲スルハ女主人ニ對シテ之ヲ行フヘシ是即チ緝紳中ノ高齡者或ハ上席者ノナスヘキコトス
- 給仕ニ過失及ヒ厭忌スヘキコトアルモ必ス叱咤スヘカラス是レ給仕ハ主人ニ屬スレハナリ

- 大哉ハ男主人自ラ剖割シテ之ヲ器皿ニ盛り衆賓ニ供スヘシ大哉數種アレハ夫妻交々牛刀ヲ取ルチ例トス
- 主人ヨリ鳥肉ノ一部ヲ嗜好スルヤ否ヲ問ハルコトアラハ直チニ其嗜好ヲ答フヘシ
- 羹汁膾炙及果物等ハ女主人自ラ之ヲ盛ルヘル是レ常例ナリ
- 女主人ハ酒饌ノ佳味ヲ稱シ強ヒテ客ニ侑ムヘカラス唯客ノ適意ニ任シテ可ナリ
- 客ハ佳酒美饌ヲ稱スルコトアルモ多言スヘカラス
- 平常自家ノ食時ニ於テモ禮儀ヲ正シ且清潔ニスルヲ要ス否ヲサレハ他家ノ會食或ハ大會ニ臨

面目ヲ失フコトアリ
 ○大會ニアラサレハ咖啡又ハ茶ハ其席ニ於テ女主人
 自ラ之ヲ盛ルヘシ其一碗ヲ盛ルコトニ一客ニ供シ
 其濃淡甘味ハ同一ナランコトヲ要ス
 ○食ニ飽キ酒ニ沈醉スルハ飲食ノ理ヲ知ラサル野郎
 ノ人トス慎ムヘシ
 ○咖啡、茶等ノ熱度ヲ放冷セシト欲セハ宜シク口氣ヲ
 以テスヘシ之ヲ承皿しんざらニ覆スヘカラス
 ○給仕過テテ器皿等ヲ毀損スルモ毫モ愛情ノ色ヲ見
 ハスヘカラス而シテ之カ爲メニ談話ノ中絶セサラ
 シコトヲ注意スルハ即チ女主人ノ務メトス
 ○女主人ハ衆客ノ食終ルマテハ務メテ間斷ナク食セ

シコトヲ要ス
 ○食終レハ水或ハ温湯ヲ器ニ盛リテ之ヲ供ス即チ客
 ハ之ヲ用テ手ヲ洗ヒ食巾ヲ以テ拭フヘシ湯水ハ温
 宴會ニ混和シテ供スルコトアリ蓋シ紳紳ノ
 ○食己ニ終リ食堂ヲ去ラント欲スルキハ女主人ハ起
 テ己レノ椅子ヲ後方ニ却ケ以テ其意ヲ示ス當下賓
 客ハ食巾ヲ疊ニ遠ニ會同席ニ復ヘル其順次着席ノ
 時ノ如シ紳紳ハ書房或ハ吸烟室ニ入り或ハ女子ヲ
 リ客ニ供ス別席セシムルコトアリ凡ソ巻煙草ハ主人ヨ
 ルヲ例トス己ニ復席ノ後三十分時許ヲ經レハ菓子
 及ヒ咖啡或ハ茶ヲ供ス是ヲ宴會ノ終リトス
 ○又終會ヲ示ス一例アリ乃チ女主人ハ一同ノ食終リ
 ヲルヲ見レハ男主人ノ右傍第一席ニ在ル老婦人ヲ

注視スヘシ此時衆客ハ起立シ其若座ノ順次ヲ逐ヒ
 會同席ニ復ス後チ一時或ハ三時間ヲ經過スレハ主
 人夫妻ニ陳謝シテ辞シ去ルヘシ
 ○賓客ヲシテ其會ノ和樂快暢ヲ忘ル、能ハサザシム
 ルハ女主人ノ務メナリ

應接ノ部

○應接ノ要義

○凡ソ禮儀ハ人民社會ノ交際ヲ媒介シ親交ヲ維持シ
 粗暴ヲ和ラシ貴賤貧富ヲ論スルコトナク至貴至重ニ
 シテ一日モ欠クヘカラサルモノナリ是故ニ禮儀ニ
 嫻熟セシ人ハ其品格自ラ貴ク之ニ反スル者ハ人ニ
 輕視セラレ不利不幸ヲ得ルコト鮮カラズ文明社會ニ

栖息スル者知ラスレテ可ナランヤ

○文明社會ニ於テハ婦女ヲ尊敬スルヲ以テ常例トス
 然レモ敢テ男子ノ權ヲ重ンセサルニ非ス唯一歩ヲ
 婦女ニ讓ルノミ例ヘハ紳士ニシテ男女同席ニ在ル
 モノニ面接ヲ請フモ其諾否ヲ問フハ必ス婦人ヲ先
 キニス是婦女ノ權ヲ尊重スル一例ナリ又甲某往テ
 乙某ノ家ニ在リ甲ノ知人丁某來リテ甲ノ紹介ヲ以
 テ乙ニ接見セシコトヲ請フコト甲ハ乙ノ許諾ヲ受クル
 ニアラサレハ接見セシムルヲ得ス是男子ノ權輕カ
 ラサル一例ナリ凡テ紳士ハ貴女(一般ノ婦女ニ接)
 接スルニ首ヲ屈スルヲ以テ敬禮トシ男子ハ女子ニ
 對シ先ツ談話スルノ義務アルモノトス

○紹介ノ通式

○紳士ヲ貴女ニ紹介スルニハ紹介者先ツ貴女ニ對シテ
 屈首ノ禮ヲ爲シ雙手ヲ主ト賓トニ向ケ先ツ貴女
 ノ名ヲ唱ヘ曰ク某今日某氏ヲ紹介ス請フ許シ給ヘ
 ト時ニ賓主相互ニ氏名ヲ唱ヘ紳士ハ先ツ貴女ノ名
 呼フ名ヲ乃チ賓ハ屈首ノ禮ヲ爲シ且曰君ニ面スルノ
 幸ヒヲ得タリ或ハ君ト知己タルノ榮ヲ得タリ云々
 ト少者ノ長者ニ於ル一般人民ノ紳士ニ於ル皆同シ
 凡テ接見ニ當リテハ身分卑キ者先ツ氏名ヲ唱フル
 例トス

○茲ニ最モ注意ヲ要スルハ紹介者賓主ノ氏名ヲ唱フ
 ルハ明瞭ナラソフヲ欲ス若シ之ヲ唱フルト明瞭ナ

ラサルキハ屈首ノ禮ヲ施スニ先タチ更ニ紹介者ニ
 問フヘシ又主一人ニ賓數人ヲ同時ニ紹介スルキハ
 先ツ主一人ノ氏名ヲ唱ヘ次ニ賓數人ノ名ヲ唱フヘ
 シ且一人毎ニ双手ヲ主賓ニ向ケルト上ニ同シ
 ○又紹介者已レノ一族ヲ紹介スルキハ我父某或ヒハ
 兄某ト唱ヘ官吏ナレハ何官爵某君ト唱ヘ所長ノ技
 藝アル者ハ其技藝ノ名譽ヲ唱ヘシ例ハ何發明者
 者某君ト唱
 フルカ如シ

○握手

○貴婦人縉紳ト相會スルニハ唯屈首ノ禮ヲ行ヒ握手
 スヘカラス然レモ縉紳ニシテ貴婦人ノ家族中ニ相
 識ル者アルカ或ハ貴婦人ト親シキキハ握手ノ禮ヲ

施スヘシ若シ貴婦人手ヲ出サ、レハ縉紳ヨリ手ヲ
 出スヘカラス又既ニ婚嫁シタル貴婦人ハ己レノ良
 人或ハ己レノ知人ノ他人ヲ伴フテ來ルコトアラハ握
 手スヘシ是即チ來客ヲ信愛スルノ意ナリ（貴婦人ト
 紳士トノ
 禮ハ緊シク握）縉紳互ニ相會スル時ハ必ス握手ノ禮
 ナ爲スヘシ長者貴權者ハ少者卑賤者ニ對シテハ
 先ツ握手ノ禮ヲ行フ少者卑賤者ヨリ先タ、サルヲ
 以テ一般ノ常例トス

○少年ノ婦女ハ親交ノ外ハ一切握手スヘカラス紳士ト
 雖モ亦然リ既ニ婚嫁シタル婦女ハ室内ニ於テ握手
 スヘカラス殊ニ舞踏會其他公會ノ席ニ於テハ握手
 ノ禮ヲ爲サ、ルヲ宜シトス此禮ヲ施スニ互ニ婦女

子ナレハ手ヲ握ルコト寛柔ニスヘシ

○握手ハ必ス右手ヲ用フ各國異ナルコトナシ

○訪問ノ通式

○人ヲ訪フニ避クヘキ時刻アリ即チ早朝深夜食時是
 ナリ未ダ會ハサル人ノ家ニ至リ主人ト相見ルニ紹
 介者ナキハ自ラ己レノ氏名ヲ告クヘシ若シ其家
 族中ニ知己アラハ宜シク未ダ主人ニ面セサルニ先
 ヲチ己レノ名ヲ通シテ面會シ而ル后チ主人ニ面ス
 ヘシ

○添書ヲ持テ人ヲ訪フハ宜シク名刺ト共ニ之ヲ
 呈スヘシ相面シテ然ル後ニ之ヲ呈スルハ不敬トス
 主人ハ添書ヲ通覽シ直チニ接見スヘシ且接見スル

ヤ必ス愉色よろこばしきアラソフヲ要ス

○服喪者貧者等ヲ訪フキハ美裝ヲナスヘカラス

○途上應對ノ通式

○職業上必要ノ事アルニアラサレハ途上ニ於テ紹介
ヲ爲スヘカラス若シ友人ト相逢フテ其同伴者ト未
タ相識ヲサルキハ言ヲ交ヘスシテ可ナリ但其別ル
ハニ臨ミテハ脱帽ノ禮ヲ行フヘシ初メ相逢フヤ彼
先ツ吾ニ對シテ禮ヲ施セハ直チニ答禮スヘシ若シ
答禮セサルキハ是レ其褻こころせま小ト傲慢いばるトヲ示スモノト
ス

○既ニ相識ト爲リタル貴婦人及其他ノ人ト途上相逢
フキハ唯帽子ヲ脱シ或ハ少シク首ヲ屈スヘシ若シ

煙草ヲ含ミ或ハ手ヲ「ポケット」ニ挿メハ煙草ヲ取リ
手ヲ出シテ脱帽ノ禮ヲ行フヘシ屈首ノ禮ハ教育善
長者ニ爲スヘキ事ナリ故ニ決シテ廢スヘキニ非ス
只節略ニ從フノミ

○紳士一般ノ禮ハ相互ニ出會スレハ少シク首ヲ屈シ
或ハ手ヲ帽ニ觸レ或ハ双手ヲ前ニ搖ス等ナリ

○途上貴婦人或ハ縉紳ニ逢ヘハ帽ヲ脱シ屈首ノ禮ヲ
爲スヘシ殊ニ語ヲ交フルキハ戴帽ヲ許スノ言アラ
サレハ始終帽ヲ携フヘシ

○人ト相對シテ語ルキハ宜シク愉色アルヘシ但慎ミ
テ齒ヲ見ハスヘカラス

○馬車上等ニテ相逢フキハ唯少シク首ヲ屈シテ可ナ

リ凡ソ車中ニ在リテハ左ヲ貴者ノ座トス
 ○少者ノ老者ニ對スル時ハ少者必ス先ツ禮ヲ爲スル
 シ禮ヲ爲シテ省セサレハ之ヲ再三スヘシ蓋老者ハ
 知己甚多ク少者ノ面ヲ忘失スルコト少ナカラズ是故
 ニ少者ハ老者ヲ尊敬スル爲メニ己レ先ツ禮ヲ施シ
 且再三セサルヘカヲサルナリ
 ○大家ニ成長シ善良ノ教育ヲ受ケタル婦女及老幼ハ
 車中或ハ會同席等ニ於テ自ラ座スヘキ場所ナキニ
 窮スルコトアリ此ノ如キハ直チニ己レノ座席ヲ讓
 ルヘシ
 ○凡ソ男女ヲ問ハス戶外ニ出ツルハ室内ニ於テ裝
 飾整備ハ勿論外套手套ヲ着ケ帽ヲ戴ク等ニ至ルマ

テ一モ忘失ナクシテ然ル後チ室ヲ出ツヘシ歩シ且
 手套ヲ着クヘカラス
 ○男子婦女ト同ク歩スルハ婦女ノ意ニ隨ヒ左右何
 レニスルモ可ナリ但宜シク往來雜沓ノ地ヲ避ケテ
 行クヘシ
 ○又男子貴婦人紳士ト同ク歩スルハ貴婦人ト並ヒ
 行ク例トス若シ同行中己レノ身分降等ナルハ
 紳士ニ墻壁ノ方ヲ讓ルヘシ
 ○又男子一人ニノ貴女數人ト歩スルハ其中年齒最
 モ長シタルモノ、手ヲ扶持スヘシ(米國ニ於テハ止
 アルノ外ハ白晝婦女ノ手ヲ携フルコトナシ然レハ已
 レノ妻女親子ハ例外ナリ又晚景ニ際スレハ紳士ハ
 一般ニ婦女ヲ扶持スルコトナリトメニ
 先ツ手ヲ與フルモ可ナリトメニ)

○途上貴婦人或ハ紳士ニ逢フ時歩ヲ停メテ語ルヘカ
ラス若シ彼ノ歡喜スヘキ談話アラハ彼ト共ニ歩シ
且語ルヘシ談了ラハ帽ヲ脱シ屈首ノ禮ヲ爲シテ告
別スヘシ

○舟車ニ乗下シ或ハ家室ノ階ヲ昇降スル時ハ婦女ヲ
シテ己レニ先タ、シムヘシ將コ入ラントスレハ知
己ト未識トナ問ハス婦人ノ爲メコ戸ヲ開キ婦女ノ
後ニ隨フヘシ

○婦女ト共ニ歩スル時ハ吸煙スヘカラス舟車ニ在ル
モ亦然リ

○貴婦人ト談話スル時ハ懇口ニ對ヘ且少シク帽ヲ脱
スヘシ途上或ハ階ニ於テハ長談スヘカラス

○朋友或ハ朋友他人ヲ伴ヒ羈旅ヨリ到着シタル時ハ
戶外ニ出テ、面スヘシ即チ親愛ノ意ヲ表スルナリ

○貴婦人ト共ニ稠衆群集中チ行ク時ハ己レ先ツ通路
ヲ開キ貴婦人ヲシテ己レニ從ハシムヘシ

○演劇場等群集ノ所ニ至ル時モ亦己レ先タチ通路
ヲ開キ貴婦人ヲ導クヘシ其座席ハ中央チ貴婦人ニ
譲リ己レハ其側ニ座シ遠ク離去スヘカラス又貴婦
人ト同ク演劇場ニ在ル時他ノ貴婦人ノ來ルコトアル
モ己レノ座ヲ讓ラスシテ可ナリ但觀劇中ハ決シテ
座ヲ去ルヘカラス

婚禮ノ部

○婚姻ノ要義

○凡ソ婚姻ハ人生最大至重ノ事ニシテ苟クモ變更ス
ヘカヲサルモノナリ故ニ貴賤ノ別ナク最モ鄭重ニ
セサルヘカラス是ヲ以テ男女相互ニ配ヲ求ムルニ
當リ其性質教育品行ノ善良ナルモノヲ擇ムヘシ蓋
家門ノ盛衰身世ノ榮枯是ニ係ラサルモノナシ慎マ
サルヘカラス

○議婚

○凡ソ百般ノ禮各國其風俗ニ依リ其宜キヲ異ニスル
ハ固ヨリ論ナキナリ而シテ就中婚姻契約ノ事最モ
然リ故ニ一定ノ例ヲ示スヲ能ハス今其一二ノ例ヲ
示サソニ佛國ニ在テハ婿ノ父母先ツ女子ノ父母ニ
就テ婚姻ヲ議ス英國ニ在テハ婿自ラ女子ノ父母ニ

就テ之ヲ議ス又米國ニ於テハ男女相互ニ契約スル
ニ任セ其父母タルモノハ之ニ干涉セサルヲ以テ通
例トス蓋父母ノ之ニ干涉セサルモノハ干涉スヘカ
ラサルニアラス唯專ラ父母ニ委ネスシテ女子ノ之
ヲ許スヤ否ヲ問フヘキヲ謂フナリ

○婿ヨリ女子ニ對シ婚ヲ求メ而シテ應セサルトハ之
ヲ再ヒスルハ可ナリ必ス三四回スヘカラス故ニ其
再ヒ之ヲ求ムルニ及ンテハ女子ヲシテ充分熟思セ
シメ決シテ我ヨリ之ヲ促スヘカラス且ツ女子ハ始
メヨリ即答スヘカラス而シテ婿ハ女子ノ應セサル
カ爲メニ怨言ヲ陳スルノ理ナシ又女子ヲ慕ヒ其後
ヲ尾スル如キハ醜ノ極メテ醜ナルモノナリ

○契約已ニ成リタル後ハ男子ハ女子ヲ保護スルノ義務アリ女子ハ其保護ヲ受クヘキモノナリ故ニ男子ハ女子在宅ノ時ニ當リテハ他ノ女子ト共ニ會同場等ニ赴クヘカラス而シテ女子モ亦未タ婚姻式ヲ行ハサレハ相愛スルノ情ヲ外貌ニ見ハスヘカラス

○契約既ニ完了スト雖モ若シ事故アリ解約セサルヘカラサルコトアリ即チ將來自他ノ不幸ヲ生スルアルヲ察スルトハ一時苟且姑息ノ處置ヲ爲サンヨリ寧ク斷然解約スルニ若カス此時ニ當リテハ其解約スヘキ事故ヲ證明シテ之ヲ照會スヘシ而シテ其證明書ハ情理簡約ニシテ毫モ圭角ナキヲ要ス既ニ解約スルトハ契約以來互ニ相贈答セシ所ノ物品ハ悉皆

之ヲ返却スヘシ或ハ日時ヲ刻シ婚儀ヲ行ハントスルニ猝ニ契約ヲ解クコトアルモ所謂天ノ與ヘサル所ニノ彼此共ニ敢テ悲歎シ或ハ對怨スヘカラサル所ナリ

○茲ニ附記セサルヘカラサルコトアリ乃チ父母タルモノハ平素女子ノ舉動ニ注意シ就中母親ハ其女ノ或ハ無藝無能且放逸ナル男子ニ親近スルカ如キコトアルトハ速ニ之ヲ遏絶センカ爲メ之レニ遠サカラシメ而シテ善良ナルモノヲ撰ニ之ニ親ミマシメンコトヲ要ス

○納幣

○凡ソ婚姻ヲ議シ契約已ニ成レハ男子ハ指環ヲ女子

ニ贈ル女子ハ之ヲ右手ノ無名指ニ撥スルヲ以テ常例トス

○近年寺院中ニ於テ結婚式ヲ行フニハ大抵指環ヲ用フ其指環ハ寶玉ヲ填嵌シタルモノニシテ從來結婚ノ誓約證トナスモノナリ婿ハ歸途ニ於テ之ヲ新婦ノ指ニ撥シ以テ與フ然レモ宗教ノ異ナルニ因テ之ヲ用フルト用ヒサルトアリ又黄金無飾ノ指環ノ裏面ニ結婚式ノ年月日ヲ鐫シタルモノヲ用フルトアリ宗教師ハ此指環ヲ婚儀式ニ用フ故ニ婿ハ之ヲ取テ宗教師ニ授クヘシ

○結婚ノ儀式

○結婚ノ儀式ハ其場所種々ニシテ逐一其儀例ヲ舉示

ナルヲ得ス故ニ本篇ハ唯其一般ニ行ハ、ルモノヲ摘録ス

○婚儀ヲ行フニハ新夫婦ニ各侍者アルヲ例トス侍者ハ兩問ニ周旋シテ儀式ヲ行フモノナリ即チ新婦ノ侍者ハ女子ニシテ親戚親友(新夫婦ノ姉妹)ヲ以テ之ニ充テ婿ノ侍者ハ男子ニシテ親戚朋友中ニ就キ其年齢已レト相伯仲（あひあひ）スルモノヲ撰ンテ侍者ト爲ス

○近年米國ニユヅヨルク府ニ於テ一般ニ行ハル、婚式ハ婿ノ侍者ハ親戚中ニ於テ夫妻二人ヲ擇ミテ侍者トス當日ハ侍者机ノ右方ニ立ツ婿之ニ隨フ暫ラクシテ新婦ノ侍者モ亦夫妻同シク出テ机ノ左ニ立ツ此時新婦ハ覆布ヲ以テ頭部ヲ覆ヒ首ヲ屈シ侍

者ニ隨ヒ導ヒカレテ進ム此時婿ハ進ンテ之リ迎ヘ其手ヲ執リ机前ニ至リ跪キ默シテ神ヲ拜ス新婦ノ父母ハ其左ノ後ヘニ從フ於是式ヲ行フ(宗教師之式)畢リテ新夫婦ハ共ニ寺院ヲ出ツ侍者皆之ニ從フ

○婚儀ヲ行フニ侍者ナキハ當日新夫婦ノ親族及婿一同寺院ニ至リ其準備ヲ爲ス而シテ新婦ハ母親ニ隨ヒ寺院ニ至ル至ルニ及ンテ婿ハ新婦ノ母親ノ手ヲ執リ豫メ設ケタル所ノ机ニ導ク母親ハ少シク退キテ婿ノ左位ニ就ク而シテ父親ハ新婦ヲ婿ノ起立セル机ニ導キ而シテ退キテ其左位ニ就ク新婦ノ親族ハ其左ニ婿ノ親族ハ其右ニ列ス席次既ニ整齊フニ及ンテ新夫婦相立ヒ進ミテ机ニ面シ少シク跪ク

新婦乃チ手套ヲ脱ス手套ヲ脱スルハ左手ヲ先キニス婿ハ右手ヲ先キス於是始メテ儀式ヲ行フ例ノ如ク畢レハ新婦ハ左手ヲ以テ婿ノ右手ヲ執リ寺院ヲ出テ同車シテ家ニ歸ル

○儀式媒介者ハ期ニ及ヒ衆ニ先クテ寺院ニ至リ室ノ入口ノ内面ニ立チ賓ノ來ルヲ待ツ賓至レハ之ヲ延ヒテ皆其席ニ就カシメ毎一人ニ其氏名ヲ唱フ殊ニ女賓ハ其手ヲ執リテ席ニ就カシム其長人ハ之ニ從フモノトス

○期日既ニ定レハ招引狀ヲ發シテ衆賓ヲ饗スヘシ招引狀ノ書體ハ草書ヲ用フ且印刷シタル鮮明ナルモノヲ用フヘシ而シテ招狀ヲ受ケタルモノハ他ノ招

○ 婚儀ニ列スルモノハ新婦ノ眷屬ヲ招待スヘシ若シ招待セサルハ式日後十日間ニ往テ謝シ或ハ名刺ヲ送ルヘシ現ニ新夫婦ト同市街ニ居住スルハ必ズ之ヲ招待スルヲ例トス

○ 新夫婦ハ結婚當日ノ各侍者ニ謝スルカ爲メニ新婦ハ己ノ侍者ニ贈ルニ粧飾物ヲ以テシ増モ亦己ノ侍者ニ美麗ナル「シヤツ」ノ卸鈕等ヲ贈ル然レモ其物品ハ高價ヲ要セス但式日ヲ記臆スルノ証トス

○ 男子ヨリ女子ニ物品ヲ贈ラント欲セハ宜シク結婚前ニ贈ルヘシ且其物品ハ務メテ某氏ノ贈物タリ云々ヲ明言スヘカラス近來此風習ハ一般ニ廢滅スル

モノ、如シ

○ 婚儀ノ衣服

○ 新婦ノ結婚式ニ着用スル衣服ハ上部ヨリ下部ニ至ルマテ渾テ白色ノモノヲ用フルヲ全備セルモノトス其品質ハ絹、毛絨、麻布、綿布等トス覆面ハ「レ」ス」或ハ絹布等ヲ用ヒ充分博ク且長キヲ要ス而シテ颯以下後部ハ鳥ノ翼ヲ伸ルカ如ク高ク且張ルモノヲ着用シ白色ノ縞子ノ「スリ」パー「輕便」用ナル靴ニシテ「シ」チ穿テ白色野羊皮ノ手套ヲ用レルヲ例トス

○ 侍女モ亦白色ノ衣服ヲ着用スヘシト雖モ新婦ノ如ク裝飾セサルヲ要ス覆面ヲ用ヒサルヲ可トス若ク之ヲ用ヒント欲セハ宜シク新婦ヨリハ短ク且窄キ

モノヲ撰フヘシ

○婿及侍者ハ完備シタル「モト」コング、ドレス」或ハ黒青色或ハ黒色ノ「マロク」コート等総テ淡色ノ襟飾リ及ヒ窄袴ヲ着シ又婿ハ白色侍女ハ淡色ノ手套ヲ用フ而シテ侍者ハ夜間ノ式ニ於テ「エビ」コング、ドレス」ヲ着スルヲ例トス

○婚姻ニ招待サレタルモノハ夜ハ「エビ」コング、ドレス」ヲ着スヘシ黒色ノ襟飾ヲ用フヘカラス晝ハ「モト」コング、ドレス」及白色ノ手套ヲ用フルヲ例トス

○近年一般ニ結婚ノ後「夫婦相携ヘテ他都邑等ニ遊」フ風習ヲ成セリ其衣服ノ品質ハ絹布等緻密ノモノニシテ色模様ハ流行ニ從ヒ覆面及手套ハ其衣服ト

同色ノモノヲ用フ且襟飾アル衣服ヲ着用スレバ常服ノ襟飾アルモノヨリハ其飾リ多クシテ華美ナルヲ良シトス

葬儀ノ部

○喪葬ノ要義

○喪事ハ人生ノ一大至重ナルモノナリ是ヲ以テ初終ヨリ送葬ニ至ルマテ最モ慎重鄭重ニシテ務メテ其情ヲ盡シ毫モ遺憾ナキヲ要ス近來一般ニ喪服ヲ着ケ以テ外部ヲ裝フ「ハ漸次ニ減少ナルニ至レリ」
○疾病ナレハ親戚相集リテ其側ヲ離ルヘカラス内外ヲ穏靜ニシテ遺言アラハ慎ミテ之ヲ記スヘシ病者命終ラハ一回悲哀ノ情ヲ盡スハ勿論ナリ乃チ喪主、

祭主司賓治喪ノ職ヲ定メ葬期ヲ定メ之ヲ親戚故舊
及ヒ平生交際最親厚ナル者ニ訃告ス

○死骸ハ其最モ近キ親族及朋友相謀リテ之ヲ棺ニ納
ム葬儀ヲ家ニ於テ行フモハ其親族或ハ朋友ヲシテ
弔客ヲ接待セシム弔客中死者ト平生交際最親厚ナ
ル者ハ未タ客席ニ就カサル前死骸ヲ一見セシムヘ
シ而ル后ト棺ヲ蓋フ畢リテ之ヲ喪車ニ載セ寺院ニ
送致スルヲ例トス近年ハ費人ニアラサレハ寺院ニ
於テ棺ヲ開クコトナシ

○死去及送葬ノ日期ヲ報知スルハ親族朋友ニハ使テ
發シテ之ヲ報知セサルヘカラス其報知狀ノ表面ニ
ハ黒線ノ輪廓ヲ畫スヘシ其他ハ新聞紙ヲ以テ廣告

スルヲ例トス而シテ其訃音ヲ得タルモノハ必ス其
葬儀ニ列セサルヘカラス否ヲサレハ死者及喪主ニ
背クモノトス

○柩ヲ飾ルニ花卉ヲ用フ通例白色ナリ死者未婚或ハ
少年ナレハ繩狀ヲ作り之ヲ飾ル既婚ナレハ十字形
ヲ作ルヘシ即チ死者ヲ愛敬スル爲メニ友人ノ贈リ
タル花ヲ并以テ此飾ニ充ツ

○送葬トモミノ次第ハ祭主及喪主ハ柩車ノ前ニ在リ近
親及遠族ノ者ハ柩車ノ後ニ隨フ次ハ朋友等トス柩
車己ニ寺院ニ至リ喪主車ヲ下ル時會葬者ハ宜シク
脱帽シテ禮スヘシ握手等ノ禮ヲ爲サズ周旋者ハ喪
主ノ馬車ヲ上下スル毎ニ之ヲ扶持スヘシ

○喪服ヲ着用スルモノハ六人或ハ八人ヲ以テ通例ト
 大即チ死者ノ最モ親友ニシテ且年齢相伯仲スルモ
 ノヲ撰ム此人々ハ同敷ヲ用フ柩車ノ兩側ニ隨フ
 ○弔客ハ喪家ノ門ニ入レハ必ス帽ヲ脱スヘシ平素交
 際相惡シキモノト喪家ニ相會スルコトアルモ慎ンテ
 互ニ尊敬セサルヘカラス地人ト談話スルニ高聲ヲ
 爲スヘカラス而シテ死體ノ家ニ在ル間ハ其家族ハ
 親戚朋友ヲ除ク外他人ニ面スヘカラス他人モ亦
 其家族ニ面シテ弔詞ヲ陳ヘスシテ可ナリ死者結婚
 セシモノカ或ハ老人ナレハ弔籠及戸扉ノ握球等ハ
 黒色ノ「シレ」プヲ以テ之ヲ覆ヒ黒色ノ紐ヲ以テ之
 ヲ結ヒ未婚者或ハ少年ナレハ白色ノ紐ヲ以テ之ヲ

結フヘシ是レ常例ナリ

○葬儀ノ準備ハ親族或ハ朋友ニ委嘱スル例トス若シ
 親族等ナキトハ宜シク之ヲ葬式會社ニ委託スヘシ
 然レモ先ツ其費用金額ヲ限定スルヲ要ス蓋葬儀ハ
 華美ナラサルニ注意スヘシ唯悲哀ノ情ヲ盡スノミ
 ○友人ハ埋葬日ヨリ一週間以内ニ死亡者ノ眷屬ヲ招
 待スヘシ或ハ他所ニ於テ其死亡ヲ聞キ歸宅シタル
 日ハ一ヶ月以内ニ之ヲ招待スルコトアリ此時ニ着用
 ノ衣服ハ光彩アルモノヲ避クヘシ又會葬セシモノ
 ハ喪中ニ慰問狀ヲ贈ルヲ例トス

○喪服

○喪服ハ總テ華美ノ裝飾ヲ用ヒス故ニ概テ黒色ヲ用

フ乃チ深黒色ノ「セルシイ」或ハ「アルバカ」或ハ毛絨等
 ノ衣服「クレイプ」ノ附襟及袂飾そでくちかた黒色ノ覆頭布ボネットチ着用
 シ帽子チ戴カスカサ襷飾アルモノチ着用セズ覆面ハ「ク
 レイプ」チ以テ製シタル四線ノ黒キモノチ用フ「ハン
 カチーフ」モ亦四線ニ黒線アルモノチ用フ手套ハ黒
 色チ用ヒ頭飾ノ羽毛モ亦タ黒色チ用フ総テ裝飾品
 及指環ノ類（金指環ノ類）ニ屬スルモノチ用ヒズ是レ重喪ノ制規
 ナリ

○輕喪ニハ黒色ノ絹布或ハ「アルバカ」ニ「クレイプ」ノ襷
 飾アル衣服白色ノ附襟及同色ノ袂飾チ着用スルチ
 例トス或ハ天鵝絨ノ如キ黒色ノ鑽石チ以テ作りタ
 ル飾物チ用アルモ亦可ナリ又黒白二色或ハ紫鼠二

色ノ衣服チ併用シ「クレイプ」ノ覆頭布ニ襷飾アルモ
 ノ或ハ「クレイプ」ノ花チ戴クモ可ナリ殊ニ最モ輕キ
 喪ニハ淡鼠色及白色黒色ノ花チ戴キ且「ゼット」或ハ金
 銀ノ飾チ爲スモ亦可ナリ
 ○妻ハ其夫ノ爲メニ喪チ服スル「二年トス是レ喪ノ
 最モ重キモノナリ故ニ喪期中前ノ一年間ニ着用ス
 ル衣服ハ黒色ノ毛絨「クレイプ」ノ襟及袂飾ハ緑チ縫
 ナキモノ「クレイプ」ノ覆頭布及長ク且厚キ黒色ノ「ク
 レイプ」ノ覆面トス後一年ノ前六ヶ月ハ絹布ニ「クレ
 イプ」チ用テ襷飾チナシタル衣服黒色「レイプ」ノ附襟
 及袂飾「レイプ」ノ短キ覆面チ用フ後六ヶ月ハ鼠色或
 ハ紫色白色ノ衣服トス頭髪ハ飾ナキモノチ用フ且

喪中ハ常ニ覆頭布ヲ用ヒ帽子ヲ戴クヘカラス
○又寡婦ハ終身喪服ヲ着用スルコトアリ然レモ若シ再よりの
醜みにくスレハ之ヲ脱スル勿論ナリ

○父母ノ喪ヲ服スルハ一ケ年トス初メノ六ケ月ハ黒
色ノ毛絨ニクレープノ襷飾アル衣服ヲ着用シ黒色
ノ覆頭布クレープノ覆面クレープノ附襟及袷飾ヲ
用フ次ノ三ケ月ハ黒色ノ絹ニクレープノ襷飾アル
衣服白色或ハ黒色ノ附襟及袷飾ヲ用ヒ最後ノ三ケ
月ハ鼠色或ハ紫色ノ衣服ヲ着ス我子女ノ喪ハ父母
ニ准ス

○祖父母ノ喪ハ六ケ月トス初メノ三ケ月ハ黒色毛絨
ノ衣服白色ノ附襟及袷飾クレープノ短キ覆面クレ
ープノ覆頭布ニ絹布ヲ用テ襷飾ヲ附ケタルモノヲ
着用ス次ノ六週間ハ黒色ノ絹ニクレープノ襷飾ヲ
附ケタル衣服レースノ附襟及袷飾絹ノ短キ覆面ヲ
用ヒ最後ノ六週間ハ鼠色或ハ紫色或ハ白色ノ衣服
ヲ着用ス朋友ノ喪ハ祖父母ニ准ス

○兄弟姉妹ノ喪モ亦六ケ月トス初メ二ケ月ハ黒色ノ
衣服ニクレープノ襷飾ヲ附ケタルモノト白色ノリ
ンネルノ附襟及袷飾黒色ノ覆頭布ヲ着用ス次ノ二
ケ月ハ黒色ノ絹ノ衣服白色ノレースノ附襟及袷飾
ヲ用ヒ最後ノ二ケ月ハ鼠色或ハ紫色或ハ白色ノ衣
服ヲ着用ス
○伯叔ノ喪ハ三ケ月トス白色リンネルノ覆頭布ヲ用

フ從兄弟姉妹モ亦同シ

○重喪即チ夫妻ノ喪ニハ木綿或ハ絹ノ手套ヲ用フ野羊皮ヲ用フヘカラス「ハンカチーフ」ハ「リンネル」ヲ用ヒ其四縁ノ黒キモノヲ用フ

○貴婦人會葬ニ喪服ヲ着用セサルハ宜シク黒色ノ衣服ヲ着用スヘシ華美ノ覆頭布及肩掛ヲ用フヘカラス

○一年未滿ノ小兒ノ喪ニハ黒色ノ裝飾アル衣服ヲ用ヒ冬ハ鼠色夏ハ白色ヲ着用ス

粧飾ノ部

○梳髮

○頭髮ヲ艶黒ニセシムハ極製ノ「ペーラム」酒四等「オリ

「ブ」油ニ多「アルモンド」油一了ヲ混和シ毎日二三回之ヲ頭髮ニ塗ルヘシ

○又髮ヲ清潔艶麗ニセシムハ蛋黃レセウツ一箇蒸溜水（又ハ雨淨ナル）ニ「ビント」ヲ以テ之ヲ混和シ微温トナシ頭髮ニ塗擦（こすりつける）スルコト五六分時而シテ後蒸溜水ヲ以テ之ヲ洗滌スヘシ

○髮ニ堅毛ナカラシメシムニハ毎日五分時間長製ノ刷毛ヲ以テ頻ニ髮毛ヲ梳刷スヘシ如此スレハ意ノ如クナラサルコトナシ

○齒牙

○齒牙ヲ安全ニ維持セシムニハ食物ノ殘片ヲ齒牙間ニ留ムヘカラス若シ殘片アラバ齶（かたむね）ノ揚子ヲ以テ之

ヲ除去ルヘシ

○毎食後必ス刷毛ヲ用ヒテ齒ノ内外ヲ縦横ニ摩シテ垢汚ヲ去ルヘシ其刷毛ハ硬ニ過レハ齒ヲ傷ルヲアリ軟ニ過レハ垢汚ヲ去ルヲ能ハス故ニ其適度ノモノヲ撰用スヘシ

○齒ヲ摩スルニ磨粉ヲ用フルヨリハ「カスナル」石鹼ヲ蒸溜水ニ溶解シテ之ヲ用フルヲ良シトス

○齒ヲ清皓ニセシニハ「ボーラー」ニ写テ熱湯三「ピント」ヲ以テ之ヲ溶解シ微温トナシ樟腦一匙ヲ和シ之ヲ燻子ニ貯フヘシ之ヲ用フルニ臨ミ此水一匙ニ微温湯一匙ヲ加ヘ之ヲ以テ毎日齒ヲ洗フヘシ

○黒齒ヲ清皓ニセシニハ鹽及「クリーム、オフ、タルター」

等分ヲ粉末ニシ毎朝含嗽シテ此粉ヲ黒齒ニ塗ルヘシ

○治粧

○顔面ヲ艶麗ナラシメンニハ「シユリー」酒一「ピント」「マン」グアノ、ゴム「一」了、ナットメグ「油」一了、オレンジュ、ブロッム、テ「六」滴ヲ混和シテ燻子ニ貯ヘ置キ毎朝之ヲ顔ニ塗ルヘシ

○又一方アリ「ベン」グアノ、ゴム「粉」一写ヲ「ウイス」スキ「酒」一「ピント」中ニ投シ之ニ水ヲ加ヘテ其色濃淡ニ牛乳ノ如キチ度トシ之ヲ以テ顔及手ヲ洗ヒ乾カスベシ

○手ヲ白クセンニハ「蜜蠟」四写「黃蠟」二写「薔薇水」六写ヲ

器皿ニ入レ之ヲ沸湯上ニ置キテ溶解シ其熱度ニ至
リタル時「マヤ」一芍ヲ加ヘ而シテ放冷シ夜間寝ニ就
シニ臨ミ之ヲ手腕ニ塗擦ルヘシ

歐米禮式圖解終

一頁
四頁
十六頁
十七頁
二十二頁
同
三十頁
四十五頁
五十一頁
五十三頁
五十五頁
六十三頁

正誤

書名
一行
九行
三行末
六行
九行
一行
三行
九行
十二行
七行
十二行

禮式ハ禮式ノ誤
分ハ介ノ誤
食布ハ食巾ノ誤
大ヲ脫ス
客ハ容ノ誤
テハハシノ誤
遂ハ逐ノ誤
對ハ對ノ誤
用レハ用フノ誤
一回ハ一同ノ誤
花ヲ卉ハ花卉ヲノ誤
揚子ハ揚子ノ誤

明治十九年六月二十八日版權免許

(定價金四十錢)

同 年九月 出版

神奈川縣平民

譯述兼出版人

北村金太郎

芝區新堀町十七番地
岩倉讓介方寄留

山中市兵衛

芝區三嶋町

發賣書肆

巖々堂

神田區淡路町

大日本圖書會館
一〇六號
二架
一函
一册

9
5

011972-000-1

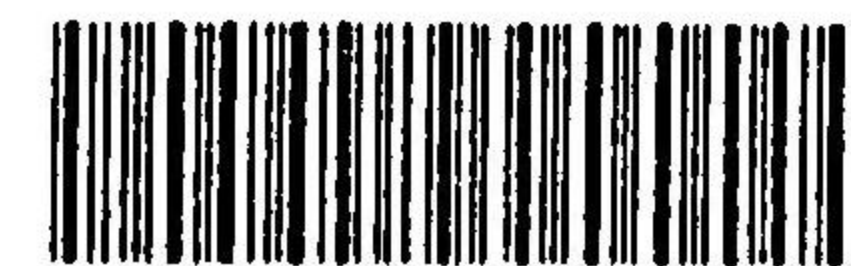
特29-795

欧米礼式解図

ハウトン/著

M19

AAG-0019



7